

ヘルパー新聞



号外

発行：ヘルパーゆう

発行日：2021. 10. 18

お助けレンジャー「ヘルパーゆう！！」～スタッフ それぞれの「想い」～



心の広さは深い海の色！！ヘルパーゆうの頼れるボス「中田」です。

人のことをしっかり受け止め「寄り添う」ことができれば、それだけで人は輝くことができると、月刊誌「Support」に書いてありました。テレビのコマーシャルで「寄り添う」って、「一緒に喜んだり、悲しんだり、そばにいたいこと」「歩幅を合わせること」「暖かいこと」…と言っていました。メンバーさんの個別支援計画を作成するには、単なる思い付きの案ではなく、私たち支援スタッフが、普段からメンバーさんに寄り添う気持ちが一番大切ということなのでしょうか。



優しさと元気いっぱいのお日さま色！！「田中」です。

ゆうに入職した時は、まだヘルパー資格がなく、メンバーさんを送迎する添乗や、お出掛けに行く先輩スタッフのことを、いつも凄いな～と思っていました。だんだんと仕事にも慣れ、ヘルパーの仕事もしてみたいと思いヘルパーを取りました。メンバーさんとの外出がとても楽しく、添乗に乗る大変さなど、色々とメンバーさんに教わったと思います。大変なことより、楽しい事の方がとても大きいので続けてこられたと思います。まだまだ未熟ですが、メンバーさんに教わりながら頑張ります



ふんわりと柔らかい雰囲気は桜色！！「齋藤」です。

みなと舎の仲間になって、あっという間に3か月が過ぎました。3か月の間には東京オリンピックがあり、ゆうオリンピックもありました。熱い暑い夏でしたね。熱戦を繰り広げる選手にたくさん刺激をもらい、私も1日も早く仕事に慣れたらと駆け抜けた夏だったように思います。コロナ禍での入職のため、まだメンバーさんと色々な所にお出掛けできていないのが残念ですが、心地よい瞬間に見せるメンバーさんの笑顔が大好きなので、そんな笑顔にたくさん出逢える活動をこれからヘルパーゆうで目指していけたらと思う今日この頃です。



時に吐く一言がツーンときく山葵色！！「三橋」です。

「ヘルパー」というと、身体介護や移動支援など「メンバーさんの個別支援」のイメージが強いと思います。もちろんそれが一番のお仕事ですが、私が大切にしているのは「みんなのヘルパーである」ということ。私はメンバーさんとメンバーさんの生活を支えている全ての人のヘルパーでありたいと思っています。メンバーさんに関わる人の気持ちにゆとりができることで、メンバーさんの生活がより豊かになると考えています。まだまだ未熟で器の小さな人間ですが、いつかそんな素敵なヘルパーになりたいと思っています。



～ヘルパーゆうは『みんな合わせて1人前』を合言葉に、フォローしあいながら、お互いを思いやる気持ちを大切に楽しく仕事をしています😊